

ベルトコンベア 350幅

【KMTS型(標準)モータタイプ】

■特徴、用途

- ☑ 木材チップや穀物類等、比較の見掛比重の少ない搬送に。
- ☑ 土木工事等で、重機が使用できない現場での土砂の運搬に、
又遺跡の発掘調査に。
- ☑ 畜産、農業関係での飼料や肥料、堆肥の運搬に、
又育苗プラントの育苗土運搬に。
- ☑ 一般産業設備や各種プラント類の原材料等のバラ物搬送に。



型式		KMTS35-3	KMTS35-4	KMTS35-5	KMTS35-7
機長	m	3	4	5	7
ベルト幅	mm	350			
ベルト仕様		KMTS 型			
電圧	V	3相 200			
モータ出力	Kw	1.0			
ベルト速度	m/min	38 / 46 (50/60HZ)			
寸法 全幅W	mm	370			
全高H	mm	366			
質量	kg	116	143	152	192

土砂、砂利、木材チップなどバラ物運搬に最適
リサイクル関連、食品、農業など様々な分野で
ご利用いただけます

■搬送物

バラ物(土砂、砂利、木材チップなど)

■ベルト幅(mm)

350



型式	ベルト幅 (mm)	機長 (m)	コンベヤベルト ベルト幅×張力×長さ	最大運搬力(m ³ /h)		モータプーリ		ベルト速度m/min		重量 ≒kg
				50Hz	60Hz	出力(kw)	電源	50Hz	60Hz	
KMTA 35- 3	350	3	350×100N/mm× 5.65m	21	25	1.0	3相 200/220V 50/60Hz	37	45	120
KMTA 35- 4	350	4	350×100N/mm× 7.65m							145
KMTA 35- 5	350	5	350×100N/mm× 9.60m							155
KMTA 35- 7	350	7	350×100N/mm×13.60m							190

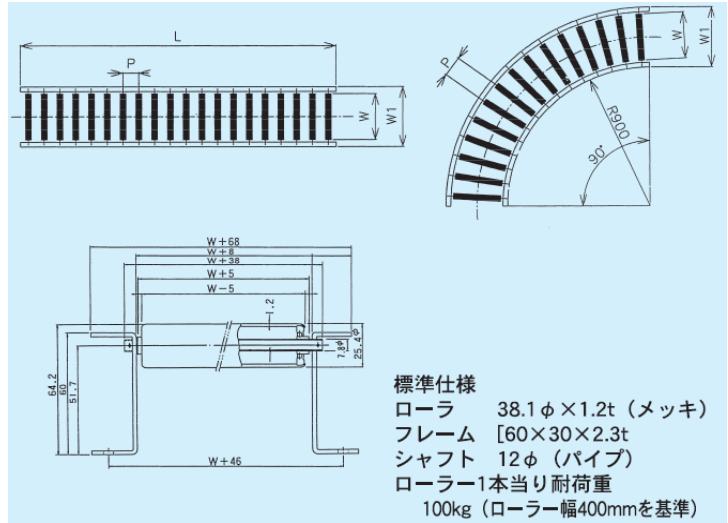
ベルトコンベア 600幅



- 3点キャリア式
- ベルト幅(cm):60
- 機長(m):5/7
- モータープーリ:出力(KW)…2.2電源(V:Hz)…三相(200/220:50/60)
- ベルト速度(m/min):50Hz…52/60Hz…62
- 水平時運搬能力(m³/h)50Hz…107/60Hz…128

型式	KMWH60-5	KMWH60-7
製品名	ベルトコンベア	
ベルト幅(c m)	60	
機長	5m	7m
騒動方式	M P	
MPモータ容量	2.2	
ローラー受け方式	3点式キャリア(WH)	
ベルト仕様	125N/mm×3.0×1.5	
キャリアピッチ	≒750	
トラフ角	30°	
キャリアローラ	76.3	
リタンローラ	76.3	
スナブローラ	114.3	
テールローラ	216.3	
テール部スカート	積み込みホツパ	
フレーム	φ42.7	

ローラーコンベア 600幅 2M/3M



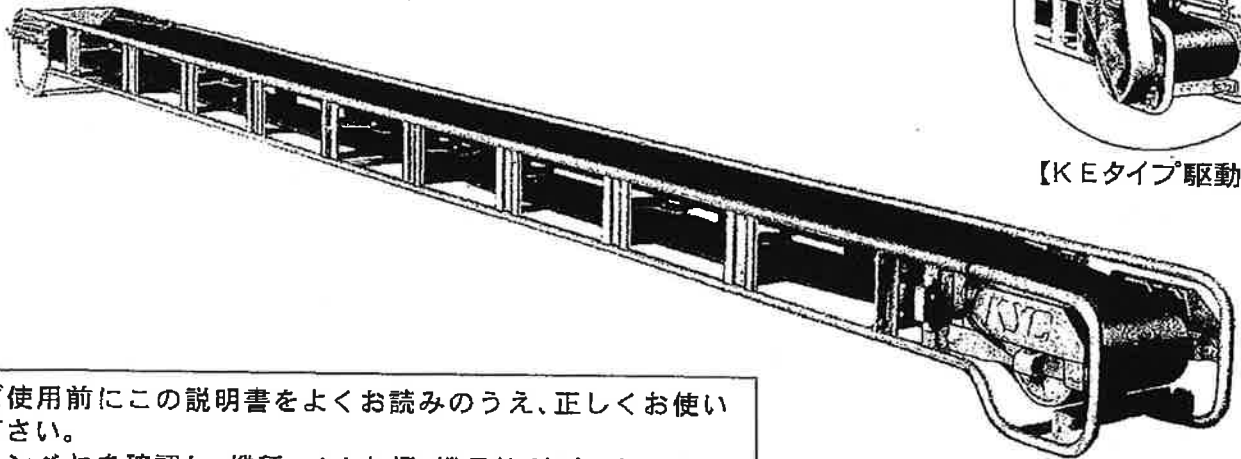
型式	TCM-3812
機幅(W1)	668
ローラー幅(W)	600
ローラー間隔(P)	75
機長(L)	2M/3M
自重	40kg/60kg

KYC ベルトコンベヤ ▶取扱説明書◀

お願い

この説明書は実際にご使用になられる方のお手元に必ず届くようお取り計らいください。

[KMTS 35-7]



【KEタイプ駆動部】

- ★ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
- ★コンベヤを確認し、機種・ベルト幅・機長等がご要望のものと一致しているか確認して下さい。
- ★輸送中の事故などで破損した箇所はないか、調べて下さい。

◆ 使用前の注意事項

▶ KMTSタイプ(モーターリ駆動)

- (1)電源は機種に適合していますか？
・標準は200V(50・60Hz)三相です。
- (2)漏電による事故とモータ焼損保護のため、漏電ブレーカー及びモータ保護機器を取付け、アースも確実に取って下さい。
- (3)コネクタは根元までしっかり差し込んで下さい。
- (4)コンベヤを少し運転し、ベルトの走行方向を確認して下さい。
・逆方向に動けばコネクタを上下逆に差し替えて下さい。

▶ KETSタイプ(エンジン駆動)

- (1)エンジン架台にエンジンを取付け、コンベヤ使用時エンジンが水平になるよう調整のうえVベルトカバーを取付けて下さい。
- (2)ドライブプーリ側のVベルトの張りは、指で押して6～10mm沈む程度に調整して下さい。
- (3)テンションボルトを緩め、エンジン単独で始動し、次にテンションボルトを廻しVベルトを張って下さい。

▶ 安全運転のための注意事項

- (1)コンベヤの運転は所定の安全教育を受け指名された人が行なって下さい。
- (2)コンベヤを運転する前には、安全点検を確認してから運転するようにして下さい。
- (3)コンベヤの上に乗ったり、またいだり、回転体にふれたりしないで下さい。
- (4)コンベヤの下には入らないで下さい。
- (5)搬送物を載せたまま始動しないで下さい。
- (6)正逆運転仕様の場合、正逆の切替はコンベヤが完全に止まってから行なって下さい。

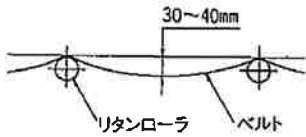
◆ 調 整

▶ ベルトの緊張

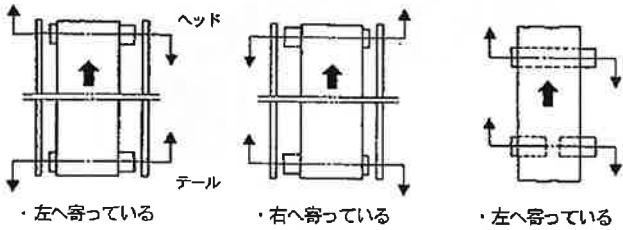
ベルトは一度調整しても使用している内に伸びてくるので定期的に調整して下さい。ベルトの張りが弱いとベルトがスリップします。

(1) アジャストボルトを交互に少しづつ回し、テールローラを移動することによりベルトを張って下さい。

(2) ベルトの張りは右図のようにリターンローラの間でベルトのたるみが30~40mm程度になるように調整して下さい。



▶ ベルトの蛇行

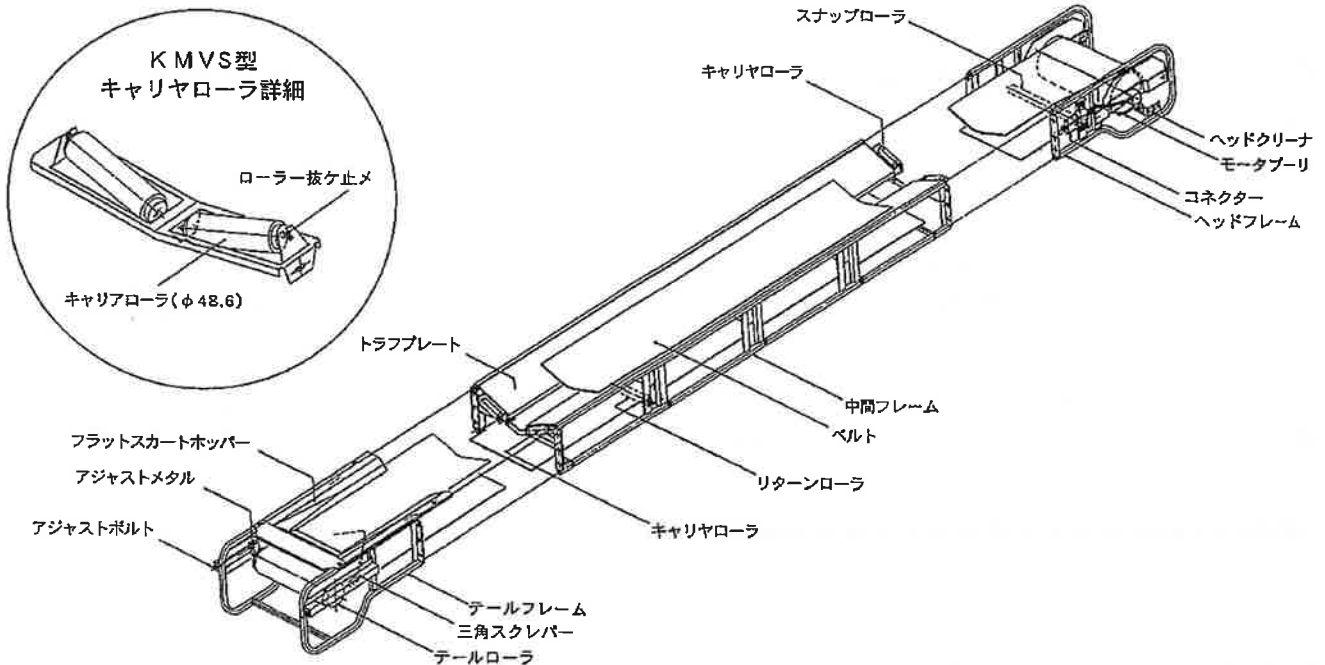


各々のプーリ・ローラを矢印の方向へ動かして下さい。ベルトは中央へ寄ってきます。

◆ 保守・点検

保守・点検は必ずコンベヤの停止中に行ってください。

- (1) ベルトの蛇行…………… 蛇行調整をして下さい。
- (2) ベルトのスリップ…………… ベルトを張って下さい。
モータプーリ(ドライブプーリ)の表面の付着物を除去して下さい。
- (3) 荷の積過ぎ…………… 荷を少なくして下さい。
- (4) ローラの回転不良…………… ローラを交換して下さい。
- (5) プーリ } のケーキの付着…………… 異物を除去して下さい。
ローラ } 付着物を除去して下さい。
- (6) ベルトの損傷…………… 補修・交換して下さい。
- (7) クリーナ・スクレーパの…………… ゴムを調整して下さい。
ゴムは正しくベルトに
当たっているか
- (8) 電気部品は正常か…………… コード・スイッチ・コネクタ
等をチェックして下さい。
- (9) Vベルトの張りは…………… 調整して下さい。
適正か。



光洋機械産業株式会社

本 社 大阪府大阪市中央区南本町2丁目3番12号エディビル ☎06(6268)3190(代)

東京支社 ☎(03)3534-8800
大阪支社 ☎(06)6266-8801
名古屋支店 ☎(052)486-1321

広島支店 ☎(082)295-1106
高松支店 ☎(087)868-5700
福岡支店 ☎(092)642-7330

西脇工場 ☎(0795)25-0700
札幌営業所 ☎(011)764-9691
仙台営業所 ☎(022)388-7666

静岡営業所 ☎(054)284-5661
鹿児島営業所 ☎(099)255-5357
新潟営業所 ☎(025)286-2125

コンベヤプロテクトシステム

Ⅱ型

取扱説明書

モデルコンベヤ： KMTS35-7

KYC 光洋機械産業株式会社

はじめに

このマニュアルは、ご使用になる方のお手元に必ずお届けください。
よくお読みの上お手元に保存し、必要なときお読みください。

◎◎◎ 安全上のご注意 ◎◎◎

【 ご使用になる前に必ずお読みください 】

ご使用に際しては、本取扱説明書をよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取り扱いをしていただくようお願いいたします。

このマニュアルでは、安全事項のランクを「危険」「警告」「注意」に区分しています。

・危険	・警告	・注意
取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定されます。

・危険

- ★ 電源ケーブルをつなぐ際には、電源ブレーカ・起動スイッチを必ず切ってください。
(死亡または重傷のおそれがあります。)
- ★ 運転中のコンベヤの回転部及びベルトには触れないでください。
(巻き込まれる恐れがあります。)
- ★ 運転中のコンベヤの下に入ったり、乗ったりしないでください。
(死亡または重傷の恐れがあります。)
- ★ コンベヤ本体へのアースは確実にとってください。
(感電の恐れがあります。)
- ★ モータ等の充電部には触れないでください。
(感電の恐れがあります。)

・警告

- ☆ 始動時・運転中には、コンベヤ付近の安全を確認してください。
(死亡または重傷の恐れがあります。)
- ☆ 安全カバー等はずして運転しないでください。
(巻き込まれる恐れがあります。)
- ☆ コンベヤに適合した漏電ブレーカ・モータ保護装置がある電源を使用してください。
(感電やモータ焼損による火災の恐れがあります。)
- ☆ 移動・点検・清掃時には、電源を切ってください。
(けがをしたり、装置・器物を壊す恐れがあります。)

・注意

(けがをしたり、装置・器物を壊す恐れがあります。)

- ◇ コンベヤの据え付け・組立に際しては、安全教育を受け、装置に対する十分な知識を持たれた方が行ってください。
- ◇ 安全な作業服・安全帽・安全靴・保護具を正しく装着し、作業を行ってください。
- ◇ カタログ・取扱説明書等に記載された使い方以外は、しないでください。
- ◇ 純正品を使用してください。
- ◇ 日常点検を行ってください。

目次

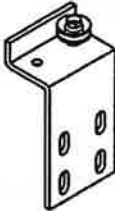
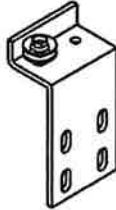
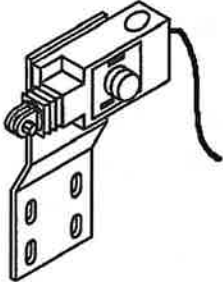
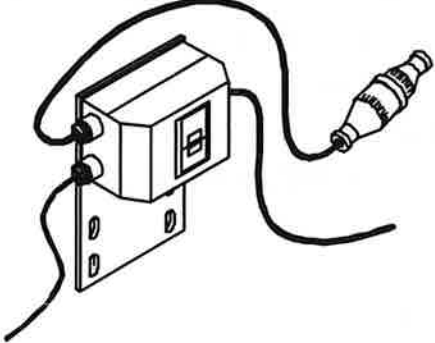
1. 組み立ての注意事項	2
2. 部品内容	2～3
3. 取り付け手順	4～5
4. ワイヤトリップスイッチ取扱説明	6
5. モータブレーカ取扱説明	7～8
6. 取付要領図	9
7. 配線図	10
8. 組立図	11

1. 組立の注意事項

- a) 寸法に適合した工具を使用し、無理な力を加えないようにし、ボルト、ナットは各部均等に締め付けて下さい。
- b) ボルト、ナット、ワッシャ等細かい部品は紛失しないよう整理し、正規のものを取り付けて下さい。
- c) 部品を一度取り外し、再度取り付けることもあります。その際には、取付方法、取付位置等を十分に確認しておいて下さい。
- d) コンベヤ組立の際、ボルトピッチが合わないからといってみだりに穴を開けるのは、なるべく避けて下さい。
- e) 各機器の芯出しを確実に行って下さい。
- f) コンベヤ組立の際、安全意識をもって作業を行って下さい。

2. 部品内容

次のページの表に示しますよう部品が納入されているかご確認ください。また、数量もご確認ください。（数量は、機長 7 m のコンベヤ 1 台分の数量を示します。）

部品番号	部品名称	規格	数量
①	ワイヤー支持金具	ボルト:M10×35L	5
		アイナット:M10	5
		PW(プレートワッシャ):M10用	5
		SW(スプリングワッシャ):M10用	5
		スペーサ:φ25×15L×穴φ12	5
②	ワイヤー回転用ブラケット(左用) (回転用部品取り付け済み)	 <p>※テールから見て左側に取り付け用です。</p>	1
③	ワイヤー回転用ブラケット(右用) (回転用部品取り付け済み)	 <p>※テールから見て右側に取り付け用です。</p>	1
④	コンベヤプロテクトシステム 非常停止用ワイヤートリップスイッチ部 (取付ブラケットに取り付け済み) (キャプタイヤコード取り付け済み) ※モータブレーカとキャプタイヤコード でつながっています。	 <p>スイッチ規格:XY2-CH13250</p>	1
⑤	コンベヤプロテクトシステム モータブレーカ部 (取付ブラケットに取り付け済み) (キャプタイヤコード取り付け済み) (ゴムコードコネクタ取り付け済み) ※非常停止用ワイヤートリップスイッ チとキャプタイヤコードでつながって います。	 <p>内部モータブレーカ規格:GV2-M10 ゴムコードコネクタ(オスメスセット品):WA3415</p>	1
⑥	ブラケット取付用Uボルト	Uボルト:M10×25A ナット:M10 PW(プレートワッシャ):M10用	8 16 16
⑦	ワイヤーロープ	φ2(黄色ビニール被覆付)	12m…1本
⑧	ワイヤークリップ	φ2用	4

3. 取り付け手順

1. ワイヤー支持金具(①)の取り付け

取付要領図「C部」をご参照の上、ヘッド側ワイヤー支持金具(1箇所)を取り付けてください。尚、このワイヤー支持金具のみアイナットを横向きにしてください。(「H部」参考。)

また、取付要領図「F部」をご参照の上、ワイヤー支持金具(全部で4箇所)を取り付けてください。(組立図参考。)

2. 回転用ブラケット(②③)の取り付け

取付要領図「G部」をご参照の上、回転用ブラケット(左側:1箇所、右側:1箇所)を取り付けてください。回転部分がヘッド側になるようご注意ください。

3. 非常停止用ワイヤートリップスイッチ部(④)の取り付け

取付要領図「E部」をご参照の上、非常停止用ワイヤートリップスイッチ部を取り付けてください。

4. モータブレーカ部(⑤)の取り付け

取付要領図「D部」をご参照の上、モータブレーカ部を取り付けてください。

5. ヘッド側ワイヤーロープ端部の取り付け

取付要領図「H部」をご参照の上、ワイヤーロープ端部をワイヤークリップ(⑧):2ケにて取り付けてください。

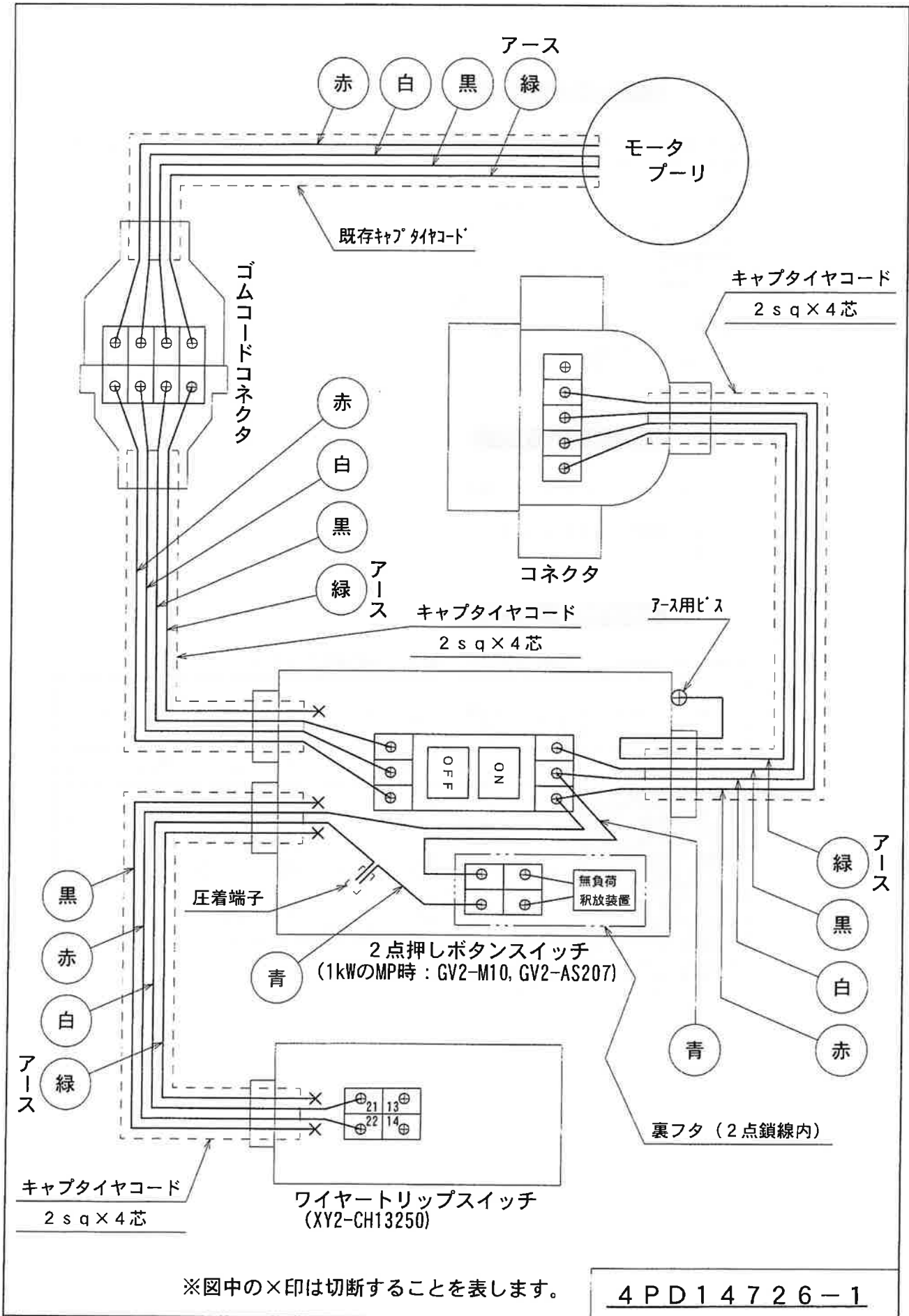
6. ワイヤーロープ(⑦)の取り付け

取付要領図の全体図をご参照の上、手順5とは反対側のワイヤーロープの先端を各ワイヤー支持金具(アイナット)の穴の中を通し、各ワイヤー回転用ブラケットの回転部の隙間の部分を通して、ワイヤートリップスイッチの方までたぐり寄せてください。

7. スイッチ側ワイヤーロープ端部の取り付け

次ページの図をご参照の上、ワイヤーロープ端部をワイヤートリップスイッチの先端(テンションデバイス部)の穴に通してください。その部分をまわすことによってワイヤーロープにテンションをかけ、正常動作範囲表示内部の中心線が▼マークに合うように調整してください。調整し終えたら、リセットスイッチを押して接点状態表示内部が黄色から緑色に変わることを確認してください。

詳しくは、「ワイヤトリップスイッチ取扱説明」(6ページ)をご参照ください。



※図中の×印は切断することを表します。

4PD14726-1